

# 教育ニュース

Vol.18

2022年1月19日

## 1月14日レベルII研修「ケーススタディ発表」がありました。

ケーススタディのテーマ「エビデンスに基づいた看護とは」  
今年度、レベルIIでは「フィジカルアセスメント循環」「倫理上のジレンマ」の研修を実施しました。そこで集合研修での学びを活かし実践した看護を振り返りケーススタディをまとめました。研修で学んだ、「患者の思い・考え・希望に沿ったケアの展開」についてよくまとめられていました。



聴講に来てくれた副看護師長さん



実施したケアの方法について、患者さんの状態をどう評価・判断して導き出したのですか？ケアの根拠を教えてください。

フィジカルアセスメントは自分たちが実践する看護の根拠となるものです。普段から五感を使ってフィジカルアセスメントをし受け持ち患者さんに必要な看護は何かを考え実践できる看護師になりましょう。



一年間研修お疲れさまでした。

エビデンスに基づいた看護実践を行っていくことは今後も必要となります。今回追加でのレポートとなりましたが、エビデンスを意識して看護実践を繰り返していくことが力になります。

この学び、機会を活かせるよう頑張ってください。

レベルII担当 竹原

ケーススタディの記載・発表お疲れさまでした。前年度に引き続き、皆さんが主体的に患者さんに寄り添い、悩み、周囲と相談しながら看護を行っていくことがよくわかり、とても成長を感じました。不安や悩みが多かった去年とは顔つきも変わり、たくましくなられたように思います。これからも学習の日々は続いていきますが、ひとまずこの一年の自分の頑張りや成長を自分でも労ってあげてくださいね。一年間お疲れさまでした。

レベルII担当 尾辻